

2025年度予算案 総額1,025億6,775万円 (前年度比2.5億円増)

任期最後の予算案

中川市長は18日、議会向けに2025年度予算案の説明会を行いました。総額約1025億円にのぼる概要を説明しました。(重点は左の表参照)

それによると、新年度は重点配分項目として、医療体制の整備や防災の取組、子育てや学びの支援、産業基盤確立などをあげていますが、多くの分野でこれまでの取組の継続だったり国・県からの要請に應える事業だったり、市民の暮らしを支える新しい取組はあまり見当たりません。

中川市長にとっては、任期最後の予算案です。有終の美を飾る意味でも、市民の暮らしを守る新規事業や、暮らし応援事業の予算を抜本的に増やすことを期待していましたが、残念なことにこれまでの枠を超えない程度にとどまっていると言わざるを得ません。

センター病院の改築着手は延期

この中でも、昨年末に突如発表したセンター病院の改築着手延期方針は、予算面でも強行する構えで、多くの市民から出されている「一刻も早い改築着手を」の声は反映されていません。

センター病院の機能拡充の項目では、①病



院の経営改善に約1千万円、②労災病院の閉院に伴う歯科口腔外科等の移行のための改修費用と空調設備の更新、ネットワーク環境の強化等に約5億7千万円となっており、建物の改築に係る予算は全く計上されていません。

子育て支援は強化

高校生の通学では、バスや鉄道の運賃は重い負担になっています。このことを背景に、長年保護者などが要望してきた通学定期券購入費の補助を行うとしています。その他、放課後児童クラブの利用改善など、子育て支援の取組は強化するとしています。

観光振興に注力

合併から20年になることや観桜会・謙信公祭が100回目となることなどを活かした地域資源の魅力を発信する取組には大きな力を入れるとしています。

妙高市のような観光都市では、観光振興は多くの市民に関係する事業ですが、当市の場合はどうでしょうか。それよりも、国保税や介護保険料の引き下げ、学校給食費の無料化など、先やるべきことがあるのではないのでしょうか。

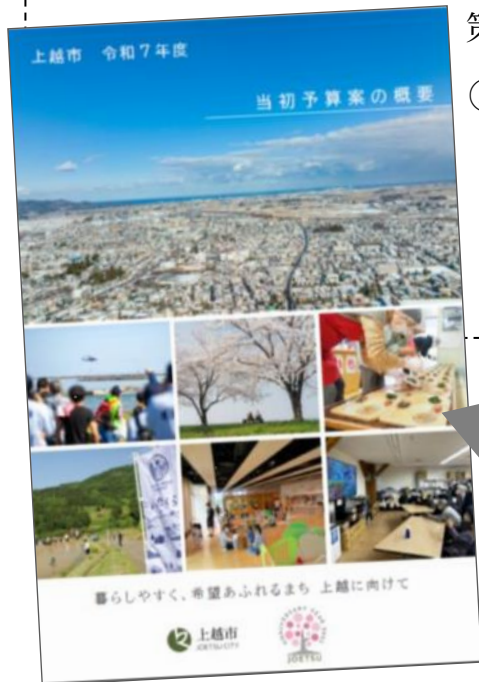
市長が発表した2025年度予算案の重点

① 国の補正予算等に呼応した令和6年度補正予算と一体的に、令和7年度当初予算を編成し、経済対策に基づく施策を早期に実施

基礎的な行政サービスの確保と充実の両立を図るとともに、優先課題である「地域の医療体制の確保」と「災害に強いまちづくり」に対応

② 第7次総合計画に掲げる将来都市像「暮らしやすく、希望あふれるまち上越」の実現に向け、5つのまちの基本目標に基づき、各種の政策・施策を推進

③ 第7次行政改革推進計画の取組と第3次財政計画に基づく計画的な行財政運営を推進



市が発表した「当初予算案の概要」市のHPからダウンロード可能

15万筆を超えた 直接請求署名運動 県民投票と直接民主主義を考える にいがた自治体研究所が講演会

「柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票条例の制定」を求める直接請求署名運動は、全県で15万筆を突破しました。

こうした中、にいがた自治体研究所は、成嶋隆・新大名誉教授にご講演をお願いして、憲法の観点から直接請求運動と県民投票・直接民主主義の意義について、お話しいただきます。また、酒匂宏樹・新大工学部准教授より、新潟大学における直接請求署名運動の経験についてもお話しいただく予定です。

党議員団の3人の議員もこの研究所の会員です。ぜひご参加ください。入場無料。(お申し込みは議員団までどうぞ)

2025年2月24日(月・振替休日) 13:30~14:45

新潟駅隣接「コープシティ花園ガレソン」4FホールC

電話025-248-7511

県民投票と直接民主主義の意義

新潟大学名誉教授 成嶋隆氏

新潟大学における直接請求署名運動の経験

新潟大学工学部准教授 酒匂宏樹氏

日本共産党上越市議員団ニュース

No.862 2025年2月23日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>